

ひらつか 平塚古墳とは？

+ 平塚古墳について

場所：群馬県高崎市八幡町毘沙門申の独立した丘陵の頂にある。平塚公園内にあり、碓氷川を見下ろすかたちに築かれている。

築造時期：5世紀後半～末

大きさ：全長約105m、
後円部径66m・高さ9m、
前方部先端幅76m・高さ7m

形：三段構築の前方後円墳



発掘当時の平塚古墳の周辺

+ 現在の古墳の状態は・・・

墳丘全体が竹林や雑木で覆われている。前方部、後円部とも墓地として利用されていて、墳丘の一部削平を受けている。墳丘の周りには今は埋没している盾形をした周濠があり、河原石による葺石が施されている。円筒埴輪や朝顔形埴輪・形象埴輪などが出土していて、墳丘に埴輪の配列がなされていたと考えられる。

+ 発掘者は誰だ！？

平塚古墳を発掘したのは**尾崎喜左雄先生**。
昭和32年に尾崎先生による発掘調査が行われた。

▼ 尾崎先生が視察者に説明している様子。
写真の左にいる方が尾崎先生。



▲ 平塚古墳の発掘調査の現地説明の風景。写真中央で平塚古墳の発掘状況を地域住民に説明している方が尾崎先生。